

美

容、ファッション・アパレル、カフェなど女性に人気の「モテる仕事」を

イメージした求人サイト「モテジョブ」をはじめ、さまざまなインターネットサービスを開発、提供する。大学卒業後、メーカー、ブランド勤務を経て2005年に、美容に特化した人材派遣会社を創業。現在、2社の代表のほか、別会社の役員も務める北氏は、「わくわくするような、クスリと笑えるアイデアを持って、楽しくワイワイ打ち合わせをしてポンと生み出されたサービスは、必ずハッピーを生む要素を持って世界に飛び立っていく」信じている。

女性経営者ならではの悩みもある。20代のは損することが多いように感じていたが、とらえ方を変えた。「自分を過大評価せず、大きく見せようとしないうことを心がけている」という。「インターネットを使って世界をハッピーに、社会をより良くしたい」と抱く夢は大きい。秋にかけては、新しいサービスのリリースが相次ぐ。世界をいかにハッピーにしていくのか。

Talk About

きたあやの
北 礼乃
コトラジャパン社長

世界をハッピーにする
“ワンドロップ”を

——最近の女性の仕事に対する意識をどう見えていますか。

世代による違いが色濃く出てくるように思います。たとえば私が大学を出たのは就職氷河期と呼ばれる時期ですが、当時就職した今30代半ばの女性は、「何とか仕事を続けていこう」と考える傾向が強い。一方で、売り手市場の中で就職した今の20代の女性には、「とりあえず結婚までは働こう」という人が多い気がします。

すべての人がそうだとは言いませんし、そもそも生き方の違いですから、どちらがいい、悪いという問題ではありません。

——ご自身の仕事に対する考え方はどう醸成されたのでしょうか。

子どものころに、テレビなどで仕事をしていました。大人に囲まれて、自分の力ではどうにもならないことをシビアに判断され、指摘されるのが常でした。いま活きている打たれ強さも、ここで培われたのかもしれない。

それ以上に大きいのは、経営者だった父の姿を見ていたことだと思います。父はリベラルな人で、子どもの私にも大人と話すように、会社、仕事や税金、国のこと、世界情勢、経済や物価について話し、わかりやすく解説してくれていた。



そうするうちに、仕事や会社は自分で創るものという意識が身についていったように思います。

——女性の起業家・経営者には女性なりの苦労があるのでは。

「女性経営者がすべて、女性だから、苦労している」ということではないでしょうが、確かに損なこともあります。「若い女の社長なんか相手にしたくない」と思われる男性も実際、いるようですから。

でも逆に、女性だから甘やかされてしまう部分があると思うんです。大事なことは、そうしたことのかたくなに一切はねつけることではなくて、「それにおぼれずになれるか」と思います。

——「モテシヨブ」の登録状況は？
プロモーションに大きな予算をかけたわけではないのですが、たくさん女性の登録してくださっ

発言力を増すためにもビジネスを大きくしたい

ています。今年3月に本スタートして、8月末現在で5000人弱といったところででしょうか。

ここから派生したサービスも準備中です。ブランド関連の情報を発信する「ブランドシヨブ」と、アルバイトやパートの仕事を紹介する「バイトパート」という携帯サイトです。以前に起業した会社でも美容関連の派遣サイト「サロンドキャリア」を運営していて、「女性の仕事」に関わるノウハウやネットワークは築けていますね。

——最近ほかにどういうサービスの開発、提供を？

携帯向けサービスの開発が中心ですが、今ちょうど、新しく提供を始めるいくつかのサービスの最終準備をしているところです。

まず「カシャパ」は、携帯で撮影した写真にセリフをつけて4コマ漫画のような作品にして遊べるサービス。他人が撮った写真を使っても、4コマじゃなくてもいい。次が「mosira」(モシラ)。

——なぜ未来型なんですか？

私たちの時代認識が強く関わっていますが、現在、ブログを書くことが珍しくなくなるなど、主観的

新たなサービスを
続々と始めています



「mosira」(モシラ、左)も「カシャパ」(右)も共にコミュニケーションに「客観性」を持たせているのが特徴。自己中心的な見方が横行する現状に対する危機感と、「社会のために何ができるのか」という同社の責任感の現れと言えるだろう

【カシャパ】<http://www.k-pa.jp/>
(9月16日プレオープン)
【モシラ】<http://www.mosira.jp/>
(10月1日準備サイトオープン)



“Web4.0”を
本気で模索中なんです

なものの見方はかりが広がって見ますが、客観的に自分のことを見られない人が増えているように思っています。そこで、他者とのコミュニケーションに客観性、客観的な見方を持たせられないかなと思っ
て作りました。

たとえば、「自分が他人にどう見られているのか」というmix(最大手のSNS)のマイミック紹介(友達紹介)の欄のようなものを数値化するんです。自分の個性や性格が、他人による評価をもとに数値化されることで、自分のことを客観的に見られるようになる。

自分中心の見方しかできないことは、痛ましい事件にもつながると思うんです。個人個人が自分の中でバランスをとることで、人生がより良いものになるだろうし、世の中も良くなっていくと思う。

「Web2.0」という言葉がもてはやされましたが、私たちは本気で「Web4.0」を模索しているんです。これまでにない、誰も生み出していない新しいインターネットサービス

のあり方を創造したい。

その過程では、世界中にハッピーエンターテインメントを伝えていくつもりです。日本ならではの文化って、もつと世界中に発信されていい。たとえば「カシャバ」で採用した4コマ漫画は、俳句や短歌のような、決められた形の中で表現する、日本ならではのクリエイティブ。そういう日本ならではの良さを世界に伝えていきたい。

——「世の中を良くする」というのは壮大ですね。

ネイティブアメリカンに伝わるお話に、山火事を見たハチドリが、水を一滴(ワンドロップ)ずつ抱えて飛んで行つては、火に落とそうとするというものがあつます。その様子を見た動物たちが、「そんなことをして何になる? やつてもムダじゃないか」と笑うんですが、ハチドリは「僕は自分ができることをただやつていただけなんだ」つて答えるんです。このお話がとても好きで、私は私の持ち場で、できることをやつていきたい。

ただ、大きなことを言っただけじゃダメ。会社がかかり利益を生んでいなきゃ、誰も聞いてくれない。だからビジネスもしっかり拡大したい。笑われるかもしれませんが、本気でそう思っているんです。

コトラジャパン

所在地・東京都渋谷区
http://www.cotora.co.jp/

KITA Ayano

1972年東京都生まれ。94年大学卒業後、三菱電機ビルテクノサービス入社。サマンサタバサ、トミーヒルフィガーのマーケティングなどをを経て、2005年美容に特化した人材派遣・コンサルティング会社センスを創業。07年コトラジャパン設立、社長就任。



【左】「モテジョブ」<http://www.motejob.com/> 【右】「MEE MEE MAIL」(めーめーメール)は新しく始めるメール転送サービス<http://www.meemee.me/> (9月20日プレオープン)